



新副團長あいさつ
松村雄一

あります。がこれまでの経験をいかして精一杯やっていきたいと思いますので、皆様のご協力とご指導を宜しくお願いいたします。

消防団では、常日頃から火災、災害に備え訓練を行ない地域防災の中核として消防防災活動を行っています。その中で「災害は未然に防止しよう」といった考え方で、

予防消防の徹底を呼び掛けています。火災が出てしまつてからの火防宣伝より、起きた前の大防宣伝、啓蒙活動が重要になると思います。堀越区でも各部落から出ている消防協力員の会合が先日行われました。そういう機会に皆で改めて考えられたことは本当によいことと思いました。どうかこれから先も区民の皆さんのお意のもと無火災の続くよう願っています。

第二の問題、区委員として連続二期務めた者は申し出により、止める事を認めますが、一時休んだ後又復帰する事が最も必要な事である。又区委員は七十歳を過ぎて改めて選出しない。

第三の問題、選出方法。区長、副区長、会計は総会において選挙により選出する。委員九名は各地区より推薦委員により候補者を推薦し総会において決定する。推薦委員は部落長が当たる。地区割は次の通りとする。

西部胡芝二名、中宮三名、駒沢堂平二名、上垣外、東、菖蒲沢二名。

監事三名は総会において選挙により選出する。

合意のもとに、提案申し上げます。

と、この様に答申を行い、区委員会としても検討を重ね、今年の総会への提案になつたものと思います。マ
観光運営についても新しい形で進められて居る様であります
が、いずれの場合もこれが絶対のものと云う事は有り得ないと
思います。その時代に添つた最も良い方法を模索し、それを実行
して行く事が必要な事ではないでしょうか。

区委員選出方法改革 区委員は地区割に

検討委員長 武田 務

紛糾しこの選出方法を見直す必要があるのでは、との事から区長委嘱による「区委員選出検討委員会」が昨年の八月発足し、検討を重ね、その結論が九月二十一日付けにて、区長に答申されました。その結果が今年の総会での区規約の改定になつたものと思います。

唯、この検討委員会での内容をもう少し詳しく知りたいとの要望があり、タイ

か当区においての、大きな問題点を上げ、その改革について検討を行いました。

第一に、当区においては松茸観光事業が有り、区委員の負担が大変重いと皆が考へてゐる事。

第二に、一旦区委員になると相当な理由がない限り、なかなか止める事が出来ない事。

第三に、選出方法として、本十一名連記の選挙では、本

当に、それぞれの立場を考えた選挙が出来ない事。このおよそ三つの問題点について検討し、その改革案として、第一の問題、松茸観光事業については、すでに第三セクターで、との意見もあるが、当面区議会とは別組織とした、松茸観光運営委員会が専門的に行い、基本的に一人一役とし、一人一人の負担を軽く

長い伝統で行なわれて来た選挙による区委員の選出方法が大きく変更になった。この所、選挙のたび毎に

ミング的には随分ずれていますが、区長への答申書に添つて御報告申し上げます。

第 28 号
豊丘村公民館
第五分館
編集 社会部
印刷 龍共印刷株

五分館だより

第28号
丘村公民館
五分館
集社會部
副 韶廿印刷(株)

堀越の今日
H9.4.1現在
戸数 94戸
人口 381人

お知らせ

球技大会 7月20日(日)
・ゲートボール予選
7月13日(日)
納涼大会 8月9日(土)
区民運動会 11月2日(日)
予備日 3日(月)



増えた建設資材置場 今後どうなる自然景観

野山の緑も芽ふき、春だけなわの今日、山間部においてはこの上ない緑の息づかいが聞こえます。

そんな中、ここ数年前より増えた建設資材置場は、大変自然景観を悪くしてて誠に残念である。見た目

の悪い物は、何でも山間に此へ設置する事は大変迷惑がある。また、廃材、ゴミ等も近くに処分されているもありゴミ捨て場同様に利用している面ありキッチンごみ区別をつけて利用する事強く望みたい。

廃材、ゴミ等は上段に持てて来て処分すれば、下流方向へ出ていく事は自然の原理でもあり、当然捨てたもの所へ帰つて行くものである。迷惑施設はあまり出来てもらいたくないが、使田している人達は、自然景観を考えた利用または、使用を心掛けてもらいたいものである。

